



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日

上場会社名 ケイヒン株式会社

上場取引所 東

コード番号 9312 URL <https://www.keihin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 光延

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 荒井 正俊

TEL 03-3456-7825

四半期報告書提出予定日 2020年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	23,577	△0.1	1,167	28.3	1,206	25.4	864	29.6
2020年3月期第2四半期	23,607	△4.9	909	55.9	962	42.5	667	73.0

(注)包括利益 2021年3月期第2四半期 773百万円 (11.8%) 2020年3月期第2四半期 691百万円 (65.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	132.42	—
2020年3月期第2四半期	102.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	40,892	18,615	45.5
2020年3月期	41,538	18,168	43.7

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 18,615百万円 2020年3月期 18,168百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,400	△2.7	1,900	0.0	1,955	0.2	1,420	0.0	217.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	6,536,445 株	2020年3月期	6,536,445 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	7,337 株	2020年3月期	7,325 株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	6,529,113 株	2020年3月期2Q	6,529,193 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成されたものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P3「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外の経済活動が抑制され、厳しい状況となりました。

このような環境の中、当社グループにおいては、国内物流事業は、一般貨物輸送の取扱いは減少しましたが、倉庫保管、流通加工、配送の取扱いが増加し、増収増益となり、国際物流事業は、輸出入貨物、輸出車両の海上輸送、港湾作業の取扱いが減少し、減収減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は235億7千7百万円（前年同期比2千9百万円の減収、0.1%減）となりましたが、国内物流事業の増収効果により、営業利益は11億6千7百万円（前年同期比2億5千7百万円の増益、28.3%増）、経常利益は12億6百万円（前年同期比2億4千4百万円の増益、25.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億6千4百万円（前年同期比1億9千7百万円の増益、29.6%増）となりました。

当社グループのセグメント別の業績は、次のとおりであります。

セグメント別売上高

セグメント	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期比増減（△印減）	
			金額(百万円)	比率(%)
国内物流事業	15,009	16,042	1,032	6.9
国際物流事業	9,071	7,989	△1,082	△11.9
セグメント間内部売上高	△474	△455	19	—
合計	23,607	23,577	△29	△0.1

国内物流事業

国内物流事業におきましては、新型コロナウイルス感染症に伴う巣ごもり需要により、宅配関連商品や食料品等の貨物取扱いが増加しました。

倉庫業は、保管残高が増加し、売上高は34億4千1百万円（前年同期比3.1%増）、流通加工業は、取扱いが増加し、売上高は37億3千1百万円（前年同期比16.2%増）、陸上運送業は、一般貨物輸送の取扱いは減少しましたが、配送取扱件数が増加し、売上高は84億5千6百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

以上の結果、国内物流事業の売上高は160億4千2百万円（前年同期比10億3千2百万円の増収、6.9%増）、営業利益は17億7千4百万円（前年同期比3億8千3百万円の増益、27.6%増）となりました。

国際物流事業

国際物流事業におきましては、新型コロナウイルス感染症による海外諸国での様々な規制等に伴うサプライチェーン停滞の影響により、貨物取扱いは厳しい状況となりました。

国際運送取扱業は、複合一貫輸送、海運貨物、輸出車両の海上輸送の取扱いが減少し、売上高は65億5千3百万円（前年同期比13.4%減）、港湾作業は、船内荷役・沿岸荷役とも減少し、売上高は9億1千5百万円（前年同期比17.6%減）となりました。

航空運送取扱業は、取扱いは減少しましたが、減便に伴う航空貨物輸送スペースの供給不足から運賃が上昇し、売上高は5億2千万円（前年同期比31.2%増）となりました。

以上の結果、国際物流事業の売上高は79億8千9百万円（前年同期比10億8千2百万円の減収、11.9%減）、営業利益は1億8千8百万円（前年同期比1億2千4百万円の減益、39.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して6億4千6百万円減少し408億9千2百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の減少等により流動資産が2億9千8百万円減少したことや、有形固定資産の減価償却の進捗等により固定資産が3億3千9百万円減少したことによるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末と比較して10億9千3百万円減少し222億7千6百万円となりました。この主な要因は、財務基盤の強化を目指し、有利子負債の削減を進めたことに伴い、短期借入金、長期借入金が合わせて10億4千6百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して4億4千6百万円増加し186億1千5百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

総資産の減少以上に負債が減少したことにより、自己資本比率は、前連結会計年度末の43.7%から45.5%へ改善した一方で、借入金依存度は、前連結会計年度末の30.4%から28.1%へ低下しました。

決算年月	2019年9月	2020年9月	2020年3月
自己資本比率 (%)	44.1	45.5	43.7
借入金依存度 (%)	30.3	28.1	30.4

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益12億6百万円、減価償却費による資金留保9億円等により、19億2千9百万円の収入となりました。前年同四半期（16億円の収入）との比較では、税金等調整前四半期純利益が増加したことから、3億2千8百万円の収入の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備の維持更新に係る投資5億4千4百万円等により、4億7千2百万円の支出となりました。前年同四半期（4億9千1百万円の支出）との比較では、1千8百万円の支出の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済等により、15億8千6百万円の支出となりました。前年同四半期（16億8千万円の支出）との比較では、9千3百万円の支出の減少となりました。

これらに現金及び現金同等物に係る換算差額（7百万円の減少）を加え、全体では1億3千6百万円の減少となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、37億9千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績は、概ね2020年8月7日発表の予想数値に沿って進捗しているため、通期の業績予想につきましては、予想数値を据え置いております。

なお、景気動向や事業環境の変動等により、連結業績予想に修正の必要が生じた場合には適時に開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,637	4,404
受取手形及び営業未収金	5,192	5,141
電子記録債権	234	253
その他	1,048	1,016
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	11,108	10,809
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,366	47,596
減価償却累計額	△33,334	△33,885
建物及び構築物(純額)	14,032	13,711
機械装置及び運搬具	3,370	3,371
減価償却累計額	△2,472	△2,555
機械装置及び運搬具(純額)	898	816
工具、器具及び備品	2,567	2,643
減価償却累計額	△2,156	△2,223
工具、器具及び備品(純額)	411	420
土地	6,809	6,809
リース資産	1,173	1,331
減価償却累計額	△513	△558
リース資産(純額)	659	773
建設仮勘定	30	30
有形固定資産合計	22,842	22,560
無形固定資産		
借地権	977	977
その他	507	457
無形固定資産合計	1,484	1,435
投資その他の資産		
投資有価証券	4,944	4,965
繰延税金資産	248	255
その他	892	860
貸倒引当金	△40	△44
投資その他の資産合計	6,044	6,037
固定資産合計	30,371	30,032
繰延資産		
社債発行費	58	49
繰延資産合計	58	49
資産合計	41,538	40,892

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	4,141	4,240
短期借入金	4,372	4,105
1年内償還予定の社債	200	700
リース債務	202	218
未払法人税等	384	379
その他	1,690	1,391
流動負債合計	10,992	11,035
固定負債		
社債	4,300	3,700
長期借入金	3,771	2,991
リース債務	517	629
繰延税金負債	36	143
役員退職慰労引当金	958	967
退職給付に係る負債	2,431	2,449
その他	361	359
固定負債合計	12,377	11,241
負債合計	23,370	22,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,376	5,376
資本剰余金	4,415	4,415
利益剰余金	7,871	8,409
自己株式	△13	△13
株主資本合計	17,649	18,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	874	803
為替換算調整勘定	△271	△302
退職給付に係る調整累計額	△83	△73
その他の包括利益累計額合計	518	427
純資産合計	18,168	18,615
負債純資産合計	41,538	40,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	23,607	23,577
売上原価	21,707	21,425
売上総利益	1,899	2,151
一般管理費	990	984
営業利益	909	1,167
営業外収益		
受取利息及び配当金	131	127
その他	47	29
営業外収益合計	179	157
営業外費用		
支払利息	61	50
為替差損	33	45
その他	31	21
営業外費用合計	126	117
経常利益	962	1,206
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産処分損	2	0
特別損失合計	2	0
税金等調整前四半期純利益	959	1,206
法人税、住民税及び事業税	257	343
法人税等調整額	34	△1
法人税等合計	292	341
四半期純利益	667	864
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	667	864

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	667	864
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	△70
為替換算調整勘定	△29	△30
退職給付に係る調整額	21	9
その他の包括利益合計	24	△91
四半期包括利益	691	773
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	691	773
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	959	1,206
減価償却費	888	900
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
固定資産処分損益 (△は益)	2	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△46	17
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	28	8
受取利息及び受取配当金	△131	△127
支払利息	61	50
売上債権の増減額 (△は増加)	300	32
仕入債務の増減額 (△は減少)	△291	98
その他	79	8
小計	1,852	2,200
利息及び配当金の受取額	125	120
利息の支払額	△60	△49
法人税等の支払額	△317	△348
法人税等の還付額	0	6
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,600	1,929
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△98	△14
定期預金の払戻による収入	—	88
固定資産の取得による支出	△385	△544
固定資産の売却による収入	0	0
貸付けによる支出	△0	—
貸付金の回収による収入	—	0
投融資による支出	△12	△5
投融資の回収による収入	5	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△491	△472
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△102	371
リース債務の返済による支出	△84	△114
長期借入金の返済による支出	△1,168	△1,418
社債の償還による支出	—	△100
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△325	△325
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,680	△1,586
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25	△7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△595	△136
現金及び現金同等物の期首残高	2,598	3,930
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,002	3,794

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,591	9,015	23,607	—	23,607
セグメント間の内部売上高 又は振替高	417	56	474	△474	—
計	15,009	9,071	24,081	△474	23,607
セグメント利益	1,390	312	1,703	△794	909

(注) 1 セグメント利益の調整額△794百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△794百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,639	7,937	23,577	—	23,577
セグメント間の内部売上高 又は振替高	402	52	455	△455	—
計	16,042	7,989	24,032	△455	23,577
セグメント利益	1,774	188	1,962	△795	1,167

(注) 1 セグメント利益の調整額△795百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△795百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。